

**試験詳細**

**【試験方法】**

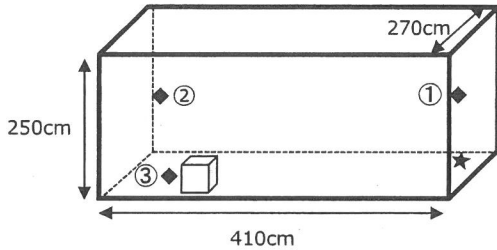
実施日及びパネル数: 10/30(5名)、11/2(4名)、11/5(5名)

1) 汚染布の作成

10cm×10cmに切り取った布(綿100%)15枚を30cm×30cm×30cmの亚克力BOX内に設置しBOX内でたばこを4本焚き、燃焼後1時間放置した

2) 脱臭操作

大阪中央工場4Fホコリの部屋(約28m<sup>3</sup>)にて脱臭機を45分稼働  
綿布の設置場所は下図に示す (同時におんどりを設置し温湿度を測定)



- ★リニューアル品試作機またはDSD
- ◆綿布設置個所(各地点3枚ずつ設置)
- ①脱臭機の送風上 高さ1.5m
- ②脱臭機から3m地点 高さ1.5m
- ③部屋の隅 60cm四方の障害物の後ろ 高さ50cm

3) サンプルガスの作成

脱臭操作を行った綿布3枚を3Lにおい袋に入れ、無臭空気を封入して1時間放置後のおい袋内の空気をサンプルガスとした  
脱臭時間と同時間放置で自然放散させた綿布3枚と  
たばこ臭付着後の綿布3枚についても同様に操作した

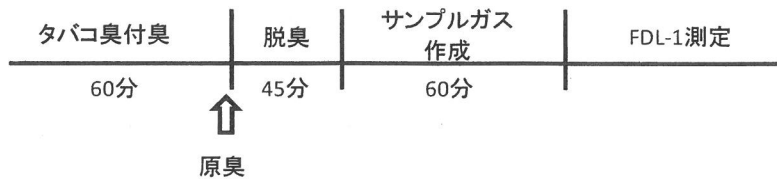
4) 官能評価試験(FDL-1測定)

希釈混合装置(FDL-1 島津製作所製)を用いて評価を行った(パネル:嗅覚試験合格者)  
結果は脱臭操作終了直後の布から放出されるにおいについての評価

試験開始時の温湿度

	温度	湿度
10月30日	21.1°C	43%
11月2日	21.7°C	56%
11月5日	19.9°C	41%

汚染布作成から測定までのタイムスケジュール



試験結果

使用機	対象	臭気指数	臭気濃度	減少率(%)	脱臭操作時間
リニューアル品 試作機(MIOX使用) (実施日:2020/10/30)	㊸	36.1	4114	-	0分
	㊹	36.1	4114	0.0	45分間
	①	22.2	165	96.0	
	②	23.9	247	94.0	
	③	22.6	181	95.6	

使用機	対象	臭気指数	臭気濃度	減少率(%)	脱臭操作時間
リニューアル品 試作機(MIOX使用) (実施日:2020/11/2)	㊸	39.4	8766	-	0分
	㊹	37.7	5936	32.3	45分間
	①	23.0	198	97.7	
	②	23.5	222	97.5	
	③	23.3	212	97.6	

使用機	対象	臭気指数	臭気濃度	減少率(%)	脱臭操作時間
DSD (実施日:2020/10/30)	㊸	35.7	3752	-	0分
	㊹	34.5	2846	24.1	45分間
	①	21.0	125	96.7	
	②	19.8	95	97.5	
	③	19.4	87	97.7	

使用機	対象	臭気指数	臭気濃度	減少率(%)	脱臭操作時間
DSD (実施日:2020/11/5)	㊸	37.9	6161	-	0分
	㊹	36.1	4114	33.2	45分間
	①	22.2	165	97.3	
	②	21.4	137	97.8	
	③	22.3	171	97.2	

- ㊸.....原臭
- ㊹.....自然放散させた布
- ①②③.....図内の各地点で脱臭操作された布

臭気指数=10LOG(臭気濃度)

臭気濃度=10<sup>(臭気指数/10)</sup>

減少率=(㊸-■)/㊸\*100

■...①, ②, ③

◆全ての試験で脱臭操作を行った場合の脱臭率が90%を超えました。しかし、脱臭後の臭気指数は20程度で、臭気ははっきりと残っておりました。

リニューアル品試作機(MIOX使用)を使用した後の部屋は塩素臭が強かったです。